

ICT活用授業実践報告書

【 H24年度3年目研修 】

実施学年	6年	実施教科 (科目)	体育科	実施日	H24. 9. 3
単元名	ソフトバレーボール (球技種目)				
本時の内容 (項目)	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスを身につけよう				
本時の目標	・膝を使ったアンダーハンドパスができる。 ・両手で三角形をつかったオーバーハンドパスができる				
授業場所	体育館	ICT活用時の 授業形態	①斉学習 個別学習・グループ学習		
ICT活用場面	導入 ②展開 ③まとめ・他 ()	ICTの主な 活用者	④教師 ・ 生徒		
活用するICT 機器	電子黒板 パソコン				
ICTを活用する 目的・ねらい・予想される 効果	・動画コンテンツを活用することで、正しいフォームを身につける。 ・視覚的に動作を理解するとともに、必要に応じて静止画像を見せることで動きのポイントを理解することができる。 ・ソフトバレーボールの楽しさを雰囲気として感じることができる。				
児童生徒の情報活用能力を 育てる指導場面・指導内容	特記事項無し				
利用するコン 텐츠名・サ イト等	特記事項無し				
参考にしたサ イト・文 献等	特記事項無し				
事前の準備	・動画コンテンツの用意 (職員の協力により撮影) ・電子黒板、パソコンの設置				

指導計画（授業の展開）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 器具の準備、準備体操 2. 本時の課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">ボールパスの仕方を身につけよう。</div> 3. グループ会 <ul style="list-style-type: none"> ・練習方法確認 4. グループ練習① <ul style="list-style-type: none"> ・対面パス、円陣パス 5. 全体交流 <ul style="list-style-type: none"> ・うまく出来ない部分はどこだろう。 ・仲間につなげるためにはどうすればよいらう。 →電子黒板を使ってのアンダーハンドパス、オーバーハンドパスの提示。 6. グループ練習② <ul style="list-style-type: none"> ・はじめよりも思った方向に返すことができた。 7. 交流試合 8. グループ会 反省 <ul style="list-style-type: none"> ・仲間のフォームを見て、声かけができていて良かった。 	（※情報モラルの指導内容） 特記事項無し
ICT を活用した授業時の教師側（指導上）の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・動画コンテンツを見せるだけでなく、教師の師範やうまく出来ている児童の姿を認めて全体に紹介することで、より正しいフォームのイメージをもたせるようにする。 ・動画コンテンツを再生するだけでなく、適宜停止させてポイントの確認をする。 	
ICT を活用した授業時の児童生徒の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・アンダーハンドパス、オーバーハンドパスの構え方の全体的なイメージをつかむことができた。 ・捕球時にボールの落下点に移動していることに気付くことができた。 ・ボールを投げる人と受ける人の声のコミュニケーションの大切さに気付くことができた。 	
ICT を活用した授業後の評価（実践の手応え）	<p>実際の動きの途中で動画を停止できることで、ポイントの整理がし易くなった。また、電子黒板の鉛筆ツールを使うことでポイントを画面に書き込むことができるので、師範を見せる場合よりも重要な点が押さえやすい。</p> <p>見本となるプレーを何度も繰り返して見せられるので、成功イメージの定着に役立つと考えられる。</p>	
今後の課題	<p>体育館での ICT 活用環境が整っておらず、設備の準備・片づけに時間がかかるため通常授業での活用は難しい。今回はパソコン室へ児童を移動させたが、無駄な時間ができてしまった。電子黒板ではなく、プロジェクターの使用も考えられるが、常駐させていないと積極的な活用にはつながらないと考えられる。効果は高いので、活用するための学習環境の工夫が必要である。</p>	

※情報モラルを指導したときは、その指導事項及び指導内容を記入する。